

船舶事故調査報告書

平成23年4月14日
 運輸安全委員会（海事専門部会）議決
 委員 横山 鐵 男（部会長）
 委員 山本 哲 也
 委員 石川 敏 行

事故種類	沈没
発生日時	平成22年7月24日（土） 06時54分ごろ
発生場所	神奈川県三浦市 劔崎 ^{つるぎざき} 東方沖 劔崎灯台から真方位073° 1.86海里 付近 （概位 北緯35°08.97′ 東経139°42.8′）
事故調査の経過	平成22年7月28日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート こうゆう丸、5トン未満（9.71m） 232-26188千葉、個人 9.71m（Lr）×2.59m×0.66m、FRP ディーゼル機関、169kW、平成8年3月
乗組員等に関する情報	船長 男性 59歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 免許登録日 平成18年2月23日 免許証交付日 平成22年4月20日 （平成28年2月22日まで有効）
死傷者等	なし
損傷	全損
事故の経過	本船は、船長ほか2人が乗船して西進中、浦賀水道の第一海堡手前で船尾のドライブ付近に衝撃音が生じた。 船長は、主機を停止し、ドライブを上げて点検したが、プロペラ等に異常が見られなかったことから、再び機関を始動して東京湾を南下した。 本船は、劔崎東方沖を約22ノットの速力で南南西進中、急に速度が低下して主機が停止した。 船長は、再びドライブの点検を行ったが、異常が見当たらなかったことから、機関室の点検を行ったところ、バッテリー下まで浸水していることが分かり、ビルジポンプで排水を開始した。 本船は、排水が追いつかない状態で浸水が続いたため、船長が118番通報を行い、全員が通りかかったプレジャーボートに乗り移ったのち、平成22年7月24日06時54分ごろ沈没した。
気象・海象	気象：天気 晴、風向 北東、風力 1 海象：波高 約10cm、うねり なし

その他の事項	<p>本船は、船体中央部にキャビンが、後部デッキ下に機関室が配置され、船内外機の主機を装備していた。</p> <p>本船は、7月9日にマリーナに上架して船底周りの点検が行われ、7月22日ごろ海面に降ろされた。</p> <p>本船は、沈没場所の水深が約70mの海域であったことから、引き揚げられなかった。</p>	
分析	<p>乗組員等の関与</p> <p>船体・機関等の関与</p> <p>気象・海象の関与</p> <p>判明した事項の解析</p>	<p>なし</p> <p>不明</p> <p>なし</p> <p>本船は、釧埼東方を南南西進中、機関室に浸水し、浮力を喪失したことにより沈没したものと考えられる。</p> <p>本船が引き揚げられなかったことから、浸水の経過を明らかにすることはできなかった。</p>
原因	<p>本事故は、本船が、釧埼東方沖を南南西進中、機関室に浸水したため、浮力を喪失し、沈没したことにより発生したものと考えられる。</p>	